

2012-2013 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

6



国際ロータリー第2510地区

2012-2013年度ガバナー 細川好弘

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512

e-mail : rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2012-13年度 国際ロータリーのテーマ

奉仕を通じて平和を Peace Through Service



国際ロータリー第2510地区2012-2013年度 地区目標

- I ロータリーを新世代と共に未来につなげよう。
- II 地域や世界に役立つ奉仕をしよう。
- III 今一度、親睦と友情を拡大しよう。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
国際ロータリー第3700地区（大韓民国）地区大会参加	2
第12グループIM報告インターシティ・ミーティングの報告	4
第10・第11グループの合同IMを終えて	5
第2グループIMを終えて	6
第1グループIMを終えて	7
国際ロータリー2013年規定審議会に参加して	8
ロータリー世界平和フォーラム広島第18回日本青少年交換研究会に参加して	10
Rotary Global Peace Forum Hiroshima	11
女川小学校・女川中学校へテント寄贈事業	14
福島での青少年の未来のための2つの事業の贈呈式を終えて	16
美唄ロータリークラブ創立40周年を迎えました	18
岩見沢東ロータリークラブ創立30周年記念式典を終えて	19
ペットボトルエコキャップ活動	20
国際ロータリー日本事務局事務所移転のご案内	21
新会員のご紹介／訃報／米山寄付／ロータリー財団寄付	22
文庫通信／地区カレンダー	23
出席率・会員数	24



以心伝心を信じて ロータリアンの道標、平和。

国際ロータリー第2510地区

2012-13年度ガバナー 細川好弘 (静内RC)

「奉仕を通じて平和を」の年度最後のメッセージとなりました。

昨年7月号のメッセージは「平和の道」への旅立ち、でスタートいたしました。アメリカ・サンディエゴ市での国際協議会、その体験を頼りに緊張感の塊の連続でありましたが、幸い先輩パスト・ガバナー並びに友情溢れる仲間を支えられてのガバナー・プログラムに反省課題も残したまま、ささやかな安堵感を覚える今日この頃であります。

特に地区運営の要であります12名のガバナー補佐の皆さんには、素晴らしい指導力を発揮して戴き、72クラブの会長・幹事の皆さんには積極的なクラブ運営にご尽力賜り、感謝の念でいっぱいでありす。

ロータリーを未来につなげるための新世代奉仕、地域に密着した奉仕からポリオ等世界に役立つ国際奉仕、相応しい仲間をお誘いしてクラブを強くするSAKUJI作戦等、公式訪問から各会合での私のお願いは以心伝心の間柄のようにご理解を戴き、実践をされておられることに、ガバナーとしてこの上ない喜びであります。また地区委員会につきましても、本年最終年度の大震災救援奉仕プロジェクト委員会、次年度スタートの未来の夢計画の準備年度であるロータリー財団をはじめ、新設のライラ委員会等々で組織されている奉仕プロジェクト委員会等、地区組織の各委員会が田中作次RI会長年度にふさわしい実績を記されましたことは将来も記憶に残る年度となることでしょう。

「平和でないことを考えると、平和を理解できる」

「人のため満足できる奉仕をすることで平和な世界を築ける」

ロータリーはそれを実現できると力説する田中作次RI会長は、「ロータリーの成功は私たちが導くものですが、ただし一人で導けるものではありません。ロータリーの成功は私たちの意欲と尽力から芽生え、積極的に活動するよう人々を導くことによって拡大していきます。大きな成功とは、偶然に生まれるものではありません。計画を立て、開いた心を持ち、多くのロータリアンと力を合わせて、初めて成功は形づくられるものです」と述べております。

今月はロータリー親睦活動月間です。ロータリー活動を通じて交流を深め、仲間との結びつきを更に育みながら「奉仕を通じて平和を」を、いつまでもロータリアンの道標としたいものです。



国際ロータリー第3700地区（大韓民国） 地区大会参加

地区幹事 **不動 信之**
(静内RC)

当地区と姉妹地区であります第3700地区2012-2013年度の地区大会が、4月26日（金）、27日（土）に大韓民国大邱市において開催されました。2004-2005年度の遠藤秀雄ガバナー年度に姉妹地区提携して8年目であります。以来、両地区は文化交流や友好の促進を図るべく、相互の地区大会に参加して友好親善を深めてまいりました。

昨年10月に新ひだか町静内にて開催した地区大会には、呂総裁ご夫妻を始め地区役員、クラブ会長など多数のロータリアンの皆様に参加を戴きました。

今年度も4月25日～28日迄の3泊4日の日程で参加いたしました。参加者は細川ガバナーご夫妻、安孫子ガバナー・エレクトご夫妻、羽部ガバナー・ノミニー、酒井パスト・ガバナーご夫妻と現、次期地区役員、札幌南RC会員、静内RC山口会長の25名と、相互訪問ではいつもお世話になっております申東煥さん（元米山奨学生、現北海道大学院水産科研究院博士研究員）の総勢26名での参加でした。

25日夕刻、ソウル仁川空港に到着し、別便で到着している酒井パスト・ガバナーご夫妻、申さんと合流し、その夜は結団式よろしく韓国式レストランで懇親を深めました。

翌26日は午前中ソウル市内観光、午後から韓国新幹線KTXで一路東大邱に2時間余りの電車旅行です。東大邱駅では第3700地区役員の方々が歓迎横断幕を掲げての出迎えて、旧知のロータリアンは再会を喜び合いました。



ホテルにチェックインの後、インターブルゴに移動し18:00より許炳周RI会長代理を迎えて、呂成源総裁（ガバナー）主催、RI会長代理歓迎晩餐会に出席しました。ソプラノ歌手による歌、ピアノ演奏、弦楽器による演奏など和やかな雰囲気での始まりでした。又、細川知恵子ガバナー夫人の和服姿も大変に良かったです。

呂ガバナーの歓迎の辞、許RI会長代理挨拶のあと、細川ガバナーご夫妻が登壇して呂ガバナーご夫妻からプレゼントと花束を戴き、そのあと細川ガバナーは再度登壇して祝辞を述べられました。晩餐会終了後別室に移り

日韓交流では恒例のカラオケ大会となり、交流と親睦をより深めました。

27日の本会議は午前10時開会で大音響の中、日韓国旗を先頭に許R I会長代理、呂総裁ご夫妻、細川ガバナーご夫妻が会場中央通路から拍手の中入場しました。

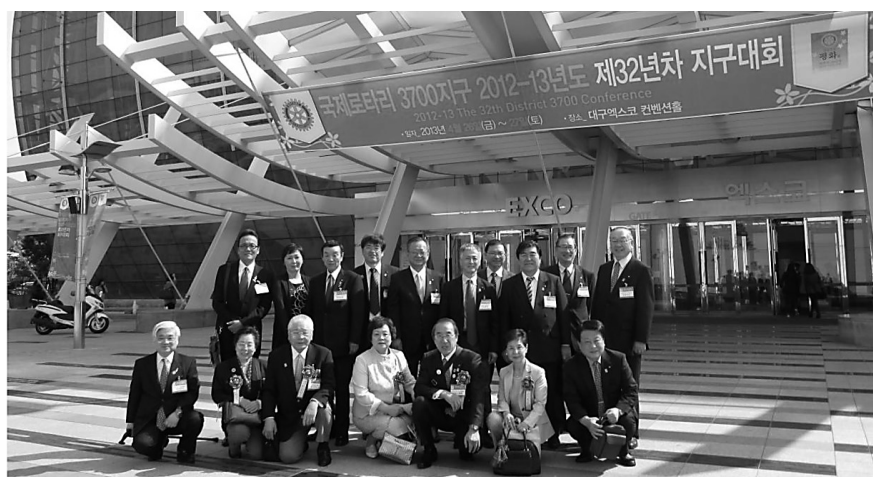
来賓紹介では、細川ガバナーご夫妻、安孫子ガバナー・エレクトご夫妻、羽部ガバナー・ノミニー、酒井パスト・ガバナーご夫妻、秋田正悦第10グループガバナー補佐の紹介がありました。呂総裁の点鐘があり日韓両国国歌斉唱で再開し、大会実行委員長挨拶、ガバナー挨拶、R I会長代理挨拶、大邱市長挨拶、細川ガバナー挨拶と続き、その後、第3700地区奉仕活動映像を鑑賞し午前の部は終わりました。

別室に移り昼食を交えて呂総裁、地区役員との歓談となりました。第3700地区との友好で中心的役割を果たしてくれております崔鳳洵（第3700地区研修リーダー・東大邱RC）さんには、私達訪問団に大変な気配りを戴きました。日本のロータリーに理解を示され、89才の現在も日本のロータリーの友、第2510地区ガバナー月信を毎月読んで勉強していると言っておられました。

次年度、安孫子ガバナー・エレクトの役員スタッフも多数参加して戴き、第3700地区の季華榮次期総裁、次期役員との交歓ができたことも大変に有意義で次に繋がるものと思います。昼食を戴いた後は会場を後にして我々訪問団一行は大邱市を離れソウルに向かいました。

3泊4日の地区大会訪問でしたが、当初心配された天気にも恵まれ、日々の会食では細川ガバナー、安孫子ガバナー・エレクト、酒井パスト・ガバナーよりロータリーあれこれを聞かせて戴き有意義な4日間の韓国訪問でした。次年度以降も両地区の相互訪問が盛んになり一層友好が深まればと願っております。

今回の訪問では関係各位に大変お世話になりありがとうございました。





IM
報告

第12グループ インターシティ・ミーティングの報告

第2510地区 第12グループ

ガバナー補佐 **市町峰行**
(苫小牧RC)

2013年4月7日(日) 苫小牧グランドホテルニュー王子にて、第12グループ(白老RC、苫小牧北RC、苫小牧東RC、苫小牧RC)のインターシティ・ミーティングが苫小牧RCをホストクラブとして開催されました。当日、来賓といたしまして細川好弘ガバナー、丸山淳士パスト・ガバナー、山田明地区幹事、苫小牧RC名誉会員でもあります岩倉博文苫小牧市長をお迎えし、多くのロータリアン出席のもとでの開催となりました。

今回のIMのテーマは「広げよう ありがとうと笑顔の輪」とし、「ありがとうと思う感謝の気持ちをいつも持ち、笑顔を忘れず笑顔で接することが、人間性を豊かにすること」に繋がるというその観点のもとにプログラムを構成しました。

プログラムは、基調講演から懇親会に至るまでこのテーマに基づき構成し、基調講演1部では、「ロータリーの奉仕は笑顔が基本」という演題で丸山淳士パスト・ガバナーに講師をお務めいただきました。「笑」に関する多くの事柄を医学的見地から解説いただきながら、ロータリーの奉仕の心を育てていく上で基本となるのが「笑顔」であることに結論付けていくお話しは、時間を忘れてしまう素晴らしい講演でした。講演2部は札幌市出身の落語家、春風亭べん橋氏による「スマイル」のお題での落語でした。「ロータリークラブとかけがえのない笑顔の達人と解く。その心は、面・胴(めんどう)みが良く、突き(つき)合いが上手」と最後を締めてくださいました。

懇親会では、地元のジャズバンド「トマフィールド・ジャズ・オーケストラ」22名によるスイングジャズの演奏に手拍子を送り、クラブ対抗の紙飛行機大会では童心に戻り競技に興ずるなど、ロータリー

アン同士の親睦と交流を一層温めていただいた事と存じます。本IMを通して「一人でも多くの方々の一つでも多くの笑顔に出会いたい」、実行委員会のこの願いを、寛容のお心でご理解していただいたことに深く感謝申し上げます。結びに、この度のIM開催に際しご協力を賜りました全ての皆様方に、厚くお礼を申し上げご報告とさせていただきます。



IM
報告

第10・11グループの合同IMを終えて

第2510地区 第11グループ

ガバナー補佐 **前川 敏雄** (江差RC)

第2510地区 第10グループ

ガバナー補佐 **秋田 正悦** (函館亀田RC)

2013年4月20日(土) 函館市・ロワジールホテル函館において第10・11グループの合同IMを開催しました。

当日は、来賓として細川好弘ガバナー、基調講演講師の酒井正人パスト・ガバナーを迎え会員全員登録で行われました。米山奨学生も混じえて総勢238名の参加を戴きました。

IM運営委員長の赤石智恵美(江差RC会長)の開会の言葉で始まり、IMリーダー前川ガバナー補佐より参加クラブの紹介と挨拶、IMの目的をお話し、その後来賓の細川好弘ガバナーから御挨拶を戴きました。

今回、インターシティ・ミーティングのテーマを『ロータリーと平和』とし、第1部の記念講演を行いました。酒井正人パスト・ガバナーより2012年の平和宣言『国境のない平和』の紹介を戴き、平和の定義、世界平和のランキング、過去平和をテーマにした5人のRI会長、ポリオ支援の経緯、ロータリー世界平和フォーラム広島等々、ロータリーと平和に関する講演を戴き改めて我々ロータリアンとして平和と奉仕に関わって行かなければならないと再認識しました。

第2部のテーマの『我がクラブの今』では、クラブが抱えている問題点や活動状況など函館RC久保俊幸会長、森RC向宣男次期副会長、長万部RC村松和弘会長、七飯RC佐藤幸雄会長、函館セントラルRC中原勝司次期幹事、函館東RC黒島一生会長、江差RC小田修一クラブ広報・会報委員長、函館北RC南木哲雄50周年記念事業実行委員長、函館五稜郭RC大日向豊吉会長、北斗RC佐藤竜也会長、函館亀田RC工藤茂美プログラム委員長の順で各クラブの活動報告やこれからの目標などを発表して戴きました。

インターシティ・ミーティングに対して、細川好弘ガバナーより平和、本当の平和、貴方の平和、そして私の平和、世界の平和に至る道を案内させて戴いたIMでしたと講評戴きました。

IMリーダー秋田ガバナー補佐より平和というのは幸福、幸せをうるのがボランティアで、ロータリーに入っていればこそ、そういう事が出来ると感じましたと謝辞を申し上げました。

IM運営副委員長の豊田千春(函館亀田RC会長)の閉会の言葉で閉会いたしました。「懇親会」に入り、細川ガバナーの祝杯で宴が始まり、秋田ガバナー補佐から次期ガバナー補佐(第10グループ石山嘉治会員・第11グループ今井義憲会員)の紹介がありお二人の意気込みを感じました。ロータリアンの交流が続き、その後余興の部では函館出身の歌手暁月めぐみ『暁月めぐみ応援ライブ』の歌を堪能し、ライブ中での御ひねりの多さに皆びっくりしておりました。懇親会の最後は、酒井パスト・ガバナーの乾杯、手に手つないで締めました。今IMで10・11グループの友情の絆がますます深まったと思います。運営委員の皆様の御協力大変有難うございます。





IM 報告 第2グループIMを終えて

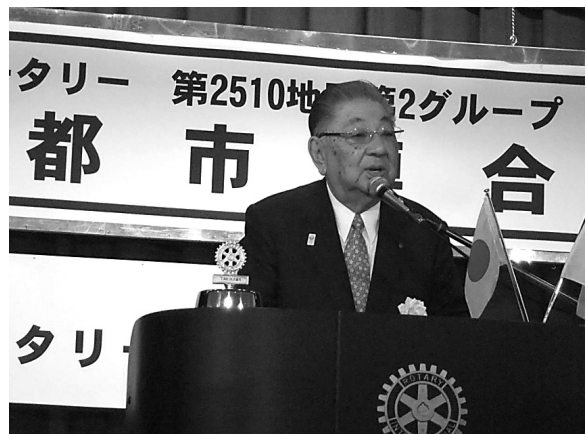
第2510地区 第2グループ

ガバナー補佐 **篠島 弘**
(滝川RC)

2013年5月11日(土)、滝川市ホテル三浦華園に於いて、第2グループのIntercity Meetingが、滝川ロータリークラブのホストで開催されました。

当日は、来賓として前田康吉滝川市長、細川好弘ガバナー、2013年規定審議会地区代表議員・遠藤秀雄パストガバナー、第1グループ清水陸ガバナー補佐、第2グループ4クラブ(赤平、芦別、砂川、滝川)の会員、約170名のご出席を賜り無事、盛会裏に終了できましたことに感謝を申し上げます。

第2グループの今回のIMテーマは『ロータリーの内と外』とさせていただきました。ロータリーの内面に関しては、「規定審議会に参加して」という演題で遠藤秀雄パストガバナーにご講演をいただきました。シカゴから帰国して2週間足らずで、未だ疲労も回復していない中、更にまた、次年度地区ロータリー財団委員会委員長としての準備もありご多忙の中、我々4



クラブの会員のためにはるばる滝川市までお越しいただきました。規定審議会の臨場感が伝わる素晴らしい講演でした。ロータリーの外面に関しては、「公共イメージと会員増強」と題して川口義弘IM実行委員長のもと、4クラブ会長によるパネルトークが行われました。肩肘を張らずに、自由闊達に、気楽に意見を述べていただき、公共イメージの向上、会員増強、クラブ管理運営の参考になりました。

その後の懇親会では各クラブの情報交換、アトラクションとしては滝川ロータリークラブ軽音楽同好会メンバーによるバンド演奏ならびに景品抽選会があり大いに楽しみました。最後は全員で、ロータリーソング「手に手つないで」を合唱し、充実した一日が終わりました。

その後の懇親会では各クラブの情報交換、アトラクションとしては滝川ロータリークラブ軽音楽同好会メンバーによるバンド演奏ならびに景品抽選会があり大いに楽しみました。最後は全員で、ロータリーソング「手に手つないで」を合唱し、充実した一日が終わりました。





IM
報告

第1グループIMを終えて

第2510地区 第1グループ

ガバナー補佐 **清水 陞**

(留萌RC)

2013年5月26日(日)留萌産業会館に於いて、地区内最終となる第1グループIMは、留萌RCをホストとし深川、妹背牛、羽幌、留萌の4クラブから105名の参加を戴き開催致しました。

当日は、来賓として細川好弘ガバナー、岩城秀晴パスト・ガバナー、留萌市長高橋定敏様、ガバナー補佐の篠島弘氏(第2グループ)、増山柳氏(第3グループ)、藤森敏昭氏(第4グループ)、武部寛氏(第5グループ)、谷川淑郎氏(第6グループ)をお迎えし、午後2時点鐘。



本会議は、「世界で良いことをしよう」をテーマに地区ロータリー財団委員長岩城秀晴氏の基調講演「私と財団」を軸に、次年度より本格始動となる「未来の夢計画」の概要と必要性。「新地区補助金」が透明性と親近感を併せ持つことを丁寧に話しの上、ご自身と重ね合わせながら奉仕する喜びを共有することが、より身近であることを教示して戴きました。



又、地区国際奉仕委員会「2012~13年度タイ検証ツアー」の様子を当クラブ編集版で上映し、現地の笑顔あふれる子供達の様子と過密日程の内での精力的な検証活動をご覧戴きました。

この2つの歯車が噛み合う時、ロータリーの志は力強く廻り出し、足元を世界を照らす灯りとなることを会場に集うロータリアンにお伝えする事が出来ました。その後、細川ガバナーより慈愛滲む講評を戴き本会議は終了しました。

午後4時からの懇親会では、親睦と友情を分かち合い、語り合う和気藹々のひとときを過ごし、これまで培ってきた大切な和を大きな輪で表す「手に手つないで」を合唱して閉会しました。

開催にあたりご協力戴いた来訪3クラブ全ての会員の皆様と惜しむことなく尽力戴いた留萌RC全会員に心より感謝申し上げます。





国際ロータリー2013年 規定審議会に参加して

第2510地区 代表議員

パスト・ガバナー **遠藤 秀雄** (登別RC)

国際ロータリー定款によると規定審議会の2年前のロータリー年度に地区内クラブを代表する議員を選ぶとされている。私は2010～11年度の地区指名委員会で推選され、地区大会で承認を受けて地区代表議員として登録をされた。2010年秋頃から日本の34地区の代表議員が数回集まり研修会を開いて今回の規定審議会にのぞんだ。

今回の審議会の概要は以下の通りである。

開催地 米国イリノイ州シカゴ

マリオット・ダウンタウン・マグニフィセント・マイルホテル

日程表 4月20日(土)

12:00～20:00 登録及び委任状提出

4月21日(日)

10:00～10:45 諸宗教合同礼拝

13:00～17:00 開会一般会議

17:00～18:00 質疑応答セッション

18:00～19:00 歓迎レセプション

4月22日(月)

9:00～17:30 審議会本会議

4月23日(火)

9:00～17:30 審議会本会議

19:00～21:00 親睦夕食会

4月24日(水)

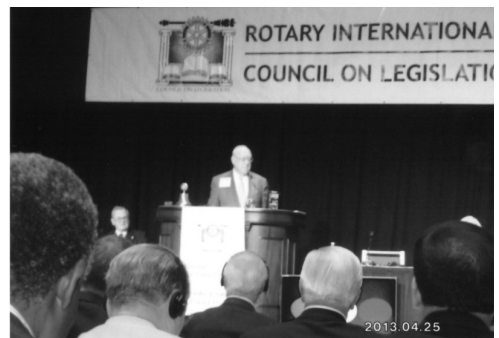
9:00～12:30 審議会本会議

4月25日(木)

8:00～18:00 審議会本会議

4月26日(金)

8:00～12:30 審議会本会議



正規の立法案

1. 制定案(RI定款、細則及び標準ロータリークラブ定款を改正する案件) 151件
 - (1) クラブ運営 10件
 - (2) 出席に関すること 19件

- (3) クラブ例会 8件
- (4) 会員 16件
- (5) 地区 10件
- (6) ロータリーの綱領、奉仕部門、年次テーマ 7件
- (7) ロータリー財団 4件
- (8) RI役員選挙に関する案 29件
- (9) 国際ロータリーの組織、運営 23件
- (10) 財務と人頭分担金 9件
- (11) RI会合 2件
- (12) 立法手続き 14件

2. 決議案（組織規定を改正しない審議会決定） 49件

200件の内、事前に撤回された案件26件、審議会当日撤回された案件30件

また、事前に欠陥のあるとされた立法案は79件あった。

審議会で裁決された案件の内、可決60件、否決80件、理事会に付記されたもの4件。

その内、日本からの提案23件、可決11件、否決9件、理事会付記2件であった。

今回提出されている立法案はRIのウェブサイトに掲載されているので、いつでも閲覧可能である。規定審議会後、2ヶ月以内に各クラブに決定通知がある。問題ありと思う場合は異議申し立ての手続きに従ってRIに意思表示ができるのでご留意願いたい。

従って個々の立法案の紹介は省略するが気になったことを少し述べてみたい。

日本のロータリアンはロータリー哲学と云うか綱領や職業奉仕に重点を置くが、欧米ではむしろ会員増進に力点が置かれている。インターアクトの前にアーリークラブを認めてはどうか（否決）やロータリーアクター年齢制限を30才から35才に引き上げてはどうかという日本からの提案に12年の活動期間があり充分とか若い会員の入会が難しくなると否決。フランスからの専業主婦（夫）の入会が可決され職業分類がどうなるのか心配もある。我々も人頭分担金の増額案には反対であったが、これから3年間半期50セントずつ増額し、2016-17年度1クラブ最低280ドルとする事が多数決で決められたが、2つ後に最低額を削除し10名以下のクラブに財政的罰を加えない案も可決され、その矛盾をどのように調整するのか心配である。国際ロータリー運営上、旅行経費の支払いに関する方針をRI細則から削除する件で1時間以上に及ぶ議論はあったが、結局経済的負担の増減よりスピード感が優先され可決された。

国際ロータリーは各国の色々な社会の流れの中でどこを指標にして変革しようとしているのか模索していると思われるがその点でも規定審議会は大きいキャスティングボードを握っていると痛感した。

我々ロータリアンにとって意外と身近で目の離せない審議会であり、今回参加させて戴き、貴重な体験をさせて戴いたことに感謝を申し上げる



ロータリー世界平和フォーラム広島 第18回日本青少年交換研究会に参加して

地区青少年交換委員会

委員長 有田京史 (新札幌RC)

去る5月17日より3日間に渡って広島で開催された両会議に参加する機会を得ました。それぞれ2日間の日程ですが、中一日が重なっているいささか複雑なスケジュールでした。訪れた広島は、思ったより爽やかで、会場となった国際会議場のある平和公園は、明るい日差しに照らされて、その中心にある慰霊碑はまるで美しい写真を見ているようで、傍らに寄り添うように掲げられた日の丸がとても印象的でした。

ロータリー世界平和フォーラム広島は、参加者2200人中400人が海外から参加という事で、会場には英語が飛び交い国際会議に相応しい雰囲気になっていました。

さて2日目からの日本青少年交換研究会ですが、昨年は札幌で開催されました。今回は細川ガバナー、山田明地区幹事にも参加して戴き、地区委員・ROTEX



も合わせて8名の参加となりました。開会式には分刻みのスケジュールの中、田中作次RI会長が顔を出して下さりスピーチを戴きました。連日の過密日程の中、あの小柄な体のいったい何処にこんなエネルギーがあるのだろうと思うほど力強いスピーチに驚かされました。



日本青少年交換研究会本会議初日は、なんと青少年交換派遣第一期生4人の方達からのお話でした。皆60代後半です。今年は派遣50周年との事で企画されたようです。(因みに我が地区では1966年の増永さん・札幌西RCが初回ですので47周年になります。)

この第一期生のオーストラリアへの受け入れには、日本軍との戦いで片目を失明したロータリアン、レナルド・ファーカー氏の多大な尽力があったとの話や、当時は外貨持ち出しに大変苦労したこと、現地ではまだ反日感情が残っておりロータリアンが大変気を使ってくれた話などを感慨深く聞かせて戴きました。

次の日は、RI本部職員を交えた朝の全国委員長会議から始まり、本会議では派遣学生の保険や青少年学友会の全国組織作りなど専門的な議題が中心となりました。

今回、平和フォーラムと青少年交換の両会議に参加しそして原爆慰霊碑に手を合わせ、原爆資料館を見学しての感想として「かつて日本と激しい戦いをして原爆を落とした国から来日した受入学生をいま我々はロータリアンとして親身に面倒を見ているんだ…。」そんな思いに駆られ、平和のありがたさ、若い人の国際交流の大切さを実感した次第です。



Rotary Global Peace Forum Hiroshima

2013 ローター世界平和フォーラム広島 (2013年5月17～18日)

2013 ローター青少年交換研究会 (2013年5月18～19日)

地区幹事 **山田 明**
(静内RC)

2012-13年度の田中RI会長の「奉仕を通じて平和を」の具体的な活動の一環として、国際ロータリーは、ベルリン、ホノルルに続き、最終の広島で3回目の「ロータリー世界平和フォーラム」が広島国際会議場で開催され、世界52カ国、総勢2,763名の参加により盛大に開催された。

「平和はあなたから始まる (Peace Begins With You)」をテーマに、17日(金)は14:00から“プレフォーラム・ワークショップ”が各テーマ別にA～Eセッションに分かれて開催され、5つのテーマに沿ってコーディネーターによる基調講演が行われ、その後参加者による討論が行われた。

当第2510地区はCセッションとなり、「国家の特性、国家の果たすべき責任とは何か」について、コーディネーターの安部浩巳氏(神奈川大学法科大学院教授)による基調講演が行われ、その後参加者による討論が行われた。安部教授から「戦争は人の心で生まれるもの、その心の砦を取り除かなければならない」を中心とした講演のあと、討論の中では、話し合いによるお互いの理解。コミュニケーション。尊敬と寛容の心。などの活発な討論が行われた。



18日(土)は9:30より全体フォーラム(パネルディスカッション)が行われ、「新世代は平和の為に何をすべきか」について前日の“プレフォーラム・ワークショップ”の5つのテーマについてコーディネーターと参加者代表から報告がされた。

「シェアーの心。小さくとも良い、お互い触れ合おう。世代を超えて同じ認識を。国境を越えて顔の見える交流を。家族、仲間、地域、国を愛する心と活動を。ITCにおける平和観はなかったが、今後取り組む必要性を今回感じた。できる範囲で平和構築に貢献を」が報告され、最後に、会場の参加者とともに“平和につながる若者の活動”について活発な討論がされ、平和の為に若者たちが果たす役割の大きさを確認された。



また、米山奨学金の恩恵を受けたおかげで人生が大きく変わりましたと、制服や、部活動など、日本式の学校運営を取り入れたモンゴルの高校で校長を務めるジャンチブ・ガルドバラツハ氏は「国を背負い、世界平和に活躍できる人材を育てたい」と決意を表明した。

閉会式は18日15:15より開会され、「広島の被爆と復興の歴史に触れたうえで、平和的な紛争解決を政治家に働きかけることや、歴史的に敵対関係にある国同士の市民が友好に取り組む」ことなどを盛り込んだ「広島平和宣言」が採択された。



田中R I会長の開会の挨拶



細川ガバナー（国際会議場入口にて）



ロビーではお茶と琴の披露



PRブース（米山奨学会）



子供たちのダンスによる平和の誓い



プレフォーラム ワークショップのまとめ



田中R I会長を囲んで記念撮影



左から ジアイ元R I会長・田中R I会長・R I事務局長



展示ブース



世界遺産 原爆ドーム



広島名物 お好み焼きで国際交流

女川小学校・女川中学校へテント寄贈事業

札幌幌南ロータリークラブ

会長 中川 勝之

本事業は、偶然に知り合った仙台RCと札幌幌南RCのロータリアン同士の声かけから復興支援へと発展しました。

私たち札幌幌南RCでは、第2510地区の東日本大震災救援奉仕プロジェクトの補助金90万円とクラブからの10万円の支援金を合算し、仙台RCのご協力を仰ぎながら、宮城県牡鹿郡女川町にある震災後3つの小学校が統合新設された女川小学校と、2つの中学校が統合新設された女川中学校へそれぞれテント3張りを寄贈する計画が昨年出来上がっていましたが、新設校に議会での承認や、校章の制定等の理由で、正式に運用された新学期に合わせ、支援が実行されました。

贈呈式が行われる前日4月24日(水)、朝7時50分参加メンバー10名、千歳空港に集合し仙台ではなく、福島空港へむけ飛び立ちました。10人乗り(空席なし)のワゴンをレンタルし、福島県内の被災地を視察しながら仙台まで北上の予定でしたが、あいにくの雨のため予定を変更し、「八重の桜」の舞台、会津に変更し野口英世記念館で学び、酒蔵見学で地元経済にちょっとだけ貢献、その後仙台に向かいました。



翌25日贈呈式当日朝9時30分、仙台RC・田中会長はじめ12名のロータリアンが私たちを出迎えてくれました。女川町へは貸し切りバスで仙台から片道2時間、特別添乗して頂いた、仙台市教育委員会佐藤主幹(前石巻市立雄勝中学校長)からの震災当日から復興までのお話を伺いながら、両クラブのメンバーが自然に打ち解けていきました。



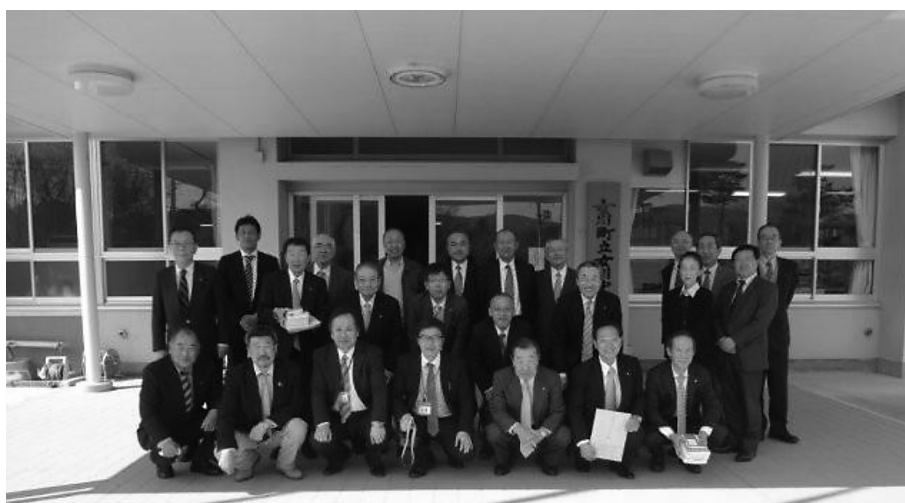
仙台RCの田中会長は、仙台銘菓「萩の月」を製造する会社の社長さんで、夕張出身の道産子という縁もありました。

女川町では、教育委員会で遠藤前教育委員長から約40分、災害当日から今日までの復興のお話をお聞きしました。その後、被災したため、高台に移設された地元の食堂で昼食後、女川中学校での贈呈式に臨みました。全校生徒から歓迎を受け、両クラブメンバー全員緊張しながら壇上へ、元気な中学生の様子が確認できます。高橋校長先生の挨拶、両クラブ会長からの挨拶、私が札幌幌南RCを代表してテント目録の贈呈、仙台RC会長から応援幕の贈呈、最後に生徒会長から立派な「お礼のこぼ」で式が終了し、全校生徒の拍手で送られました。

その後雄勝、大川小学校、南三陸町志津川防災庁舎等の被災地を巡り、南三陸町復興市でお土産を購入し仙台に戻りました。仙台着18時とほぼ1日を費やしました。その後仙台RCとの懇親会でバナーの交換等を行い親睦を深めました。

懇親会では前女川第四小学校校長の今野孝一さん（現仙台市教育委員会主幹）にもゲストで参加して頂き、数々の被災体験をお聞きし、今も伝え続ける姿に感動をいたしました。

この事業計画が具体化したのは昨年の9月上旬、仙台RC・社会奉仕副委員長とのメールや電話でのやりとりだけでしたが、お互いロータリーということだけでスムーズに事業が進み、ロータリーの素晴らしさを再確認したプログラムでありました。



福島での青少年の未来のための2つの事業の贈呈式を終えて

地区ロータリー財団委員会
地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会

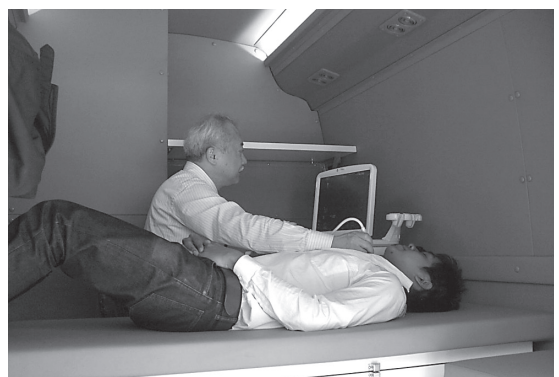
委員 **出村 知佳子**
(札幌北RC)

東京電力福島第1原発事故を受け福島県立医科大学と福島県が取り組んでいる県民健康管理調査（特に震災当時18歳以下であった子供達を生涯において支援しよう）を目的に、当地区支援金と東日本大震災復興支援基金日本委員会の補助金を利用した『福島アンダー18マイクロバス検査登録支援事業』と地区内で初めての支援の形となりました「第3グループの8クラブ」で取り組んだ『甲状腺検査装置福島アンダー18事業』の贈呈式が2013年5月22日（水）福島県立医科大学にて行われました。

当地区より細川好弘ガバナー、増山 柳（第3グループガバナー補佐）栗原清昭会員（札幌北RC）、出村知佳子（地区財団委員）、第2530地区（福島）の伊藤 浩ガバナー、佐原 元パスト・ガバナー、安藤元二地区新世代委員長、更に遥々タイ国からインターナショナルパートナーの第3340地区、タットリー・リーティールアップラサトガバナー、ノンカイロータリークラブのマリー会長、第3350地区ガバナー補佐ソンプーン・ブンヤシリーさんらが出席。

伊藤ガバナーは「県民、国民のために十分機能させてほしい」と話し、菊地臣一福島県立医科大学理事長は「子どもたちの安全、安心のため、甲状腺検査に活用させていただきます」と謝辞を述べられました。式後、寄贈された移動健診車と超音波診断装置が関係者に披露され、鈴木真一福島県立医科大学放射線医学健康管理センター甲状腺検査部門長による甲状腺検査が実演されました。

理事長との懇談会では、これまでは日本からタイへの支援という形で水や教育などの支援が行われていたのですが、東日本大震災が起こった後には、これまでの支援のお返しをとタイの皆さんにご支援を戴いている事をロータリアンが述べ、ロータリーの国際的な支援事業のご理解を深めて戴くきっかけになったのではないかと思います。



この支援が少しでも福島の青少年の未来のサポートになるように、今後も見守っていただくと皆さんが思いを一つにした贈呈式でありました。地区内皆様、海外の友好のある地区、クラブの皆様からの支援金のおかげでこのような大切な事業を実施することができ、会員皆様にこの場をお借り致しまして深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

<資金内訳> 福島アンダー18マイクロバス検査登録支援事業；(NO. 269)

1	R I D2510地区支援金	250万円
2	R I D2510 DDF	320万円
3	R I D2530地区支援金	80万円
4	ロータリー東日本震災復興基金日本委員会	100万円
		<hr/> 750万円

<資金内訳> 甲状腺検査装置・福島アンダー18事業

(MG#78441-第3340地区NONGKHA I タイ)

1	R I D2510地区支援金	400万円(8クラブ)
2	R I D2510 DDF・WF・各クラブ現金	429.5万円
		<hr/> 829.5万円



美唄ロータリークラブ創立40周年を迎えました

40年の歴史と奉仕の精神を受け継いで、会員30名が創意と熱意で記念式典を挙行いたしました。

去る5月12日(日)美唄ホテルスエヒロに於いて、来賓として細川好弘ガバナー、安孫子建雄ガバナー・エレクト、八島壯之次期地区代表幹事、増山柳第3グループガバナー補佐、後藤一昭第3グループ補佐幹事、地元から美唄市長、美唄市議会議長、美唄選出北海道議会議員、美唄商工会議所会頭、美唄ライオンズクラブ会長、国際ソロプチミスト美唄会長、美唄青年会議所理事長、美唄商工会議所青年部長をお迎えし、また、第3グループの各クラブ及び友好近隣クラブから会長・幹事等にご出席をいただきました。



式典は会長の点鐘で始まり米森副実行委員長の開会の言葉、国歌斉唱、ロータリーソング奉仕の理想を唱和。円子会長が来賓及び参加クラブの紹介を行い、宝崎実行委員長の式辞では「今だに復興の目途が立たない東日本大震災や、40年の節目としての奉仕の心を記念事業に向け、質素で且つ簡素に心掛けた記念式典である」ことを強調し、続いて、昨年1年間で3名のロータリアンを衝撃的に失い、気持ちも癒されないままではありますが、物故会員のロータリーに尽くされた功績に感謝しながら黙祷を捧げました。

円子会長の挨拶では「記念事業の趣旨や今後のロータリーの永続に向けた気持ち」を訴え、会長・幹事経験者や出席優秀会員のクラブ内表彰を行い、米森記念事業委員長が記念事業披露を詳細に述べ、東日本大震災復興支援事業として、村ごと移転した福島県葛尾村の小中学校などの移転先の仮校舎に、書籍50冊やフットサルゴール、連結マット等の教育備品を送呈。また、美唄市内の小中学校の各クラスにロータリー記念文庫を設置して心を大切に作る本を中心に配備するほか、中央小学校PTA読み聞かせボランティア団体・朗読ボランティア団体・地域住民ボランティアグループに奉仕活動支援金の贈呈することを報告し、参加各位の共感を得ました。

来賓挨拶として細川ガバナーと美唄市長からいただき、今後の会員拡大や地域奉仕への期待を寄せられました。最後に山田副実行委員長の閉会の言葉のあと円子会長の点鐘で記念式典は終了しました。



その後祝賀会を行い、安孫子ガバナー・エレクトの祝杯に始まり、増山ガバナー補佐の万歳三唱で締めさせていただき、派手さはありませんが、ロータリアン同士の触れ合いや対外的なロータリーのアピールができ、緊張感の中にも厳かにかつ温かみのある式典であったことをご報告申し上げます。

(美唄RC幹事 山田 進)

岩見沢東ロータリークラブ創立30周年記念式典を終えて

岩見沢東ロータリークラブは岩見沢ロータリークラブのスポンサーで移籍会員17名、新入会員5名で昭和58年6月28日、創立総会を行い、6月30日国際ロータリー加盟認証を戴きました。その後会員を増強して行きピーク時には50名の会員がおりましたが、現在は創立時と同じ22名まで減少してしまいました。それでも会員一丸となり、特色ある事業、地域への奉仕活動を行っております。

創立30周年記念式典は5月25日（土）岩見沢平安閣において、国際ロータリー第2510地区細川好弘ガバナーをはじめ、安孫子建雄ガバナー・エレクト、岩見沢市長松野哲様、増山柳第3グループガバナー補佐をはじめ多くのご来賓の方々や、第3グループの会員のご出席を戴き盛大に開催されました。

記念式典では、藤田会長の点鐘の後、「奉仕の理想」、堀昭良元会員が作詞し、大阪南ロータリークラブ小西欣一会員が作曲したロータリーソング「ありがとうは私から」を皆で斉唱し始めました。

その後藤田会長から来賓の紹介とコメントを加えた参加クラブの紹介があり、歓迎の言葉の中では、会員22名ながら、この式典を新たな出発点とし力強く歩き始めたいとの決意を表明し、松重実行委員長からは35年、40年に向けて会員一丸となり奉仕活動に邁進しますと、式辞を述べました。

ご来賓の祝辞では、松野哲市長からは30年の長きに渡り地域に奉仕してくれた事への感謝の言葉を戴き、細川ガバナーからは昨年の福島県南相馬、相馬のサッカー少年少女の招待事業に対して、お褒めの言葉を戴き、安孫子ガバナー・エレクトからはこの30年間、会に在籍した事のある会員の総数は多大になるはずで、皆ロータリーの精神を学んでいる事を説明されて、又30前の経済状況のお話をしてくださいました。

二部の懇親会では稲垣政敏会長エレクトの開宴の挨拶に始まり、増山柳ガバナー補佐の心温まるお話の後乾杯を致しました。余興では津軽三味線の心地よい響きの中、第3グループの会員同士の話しが盛り上がり、時間が経つのも忘れてしまうぐらいでした。恒例の「手に手つないで」の合唱の後、只野公幸副会長のユーモアあふれる閉会の辞で盛り上がったところでお開きとなりました。



岩見沢東ロータリークラブがこの30年間海外において、又地域において奉仕活動を行う事が出来たのは、第2510地区、スポンサーである岩見沢ロータリークラブ、第3グループの会員の温かいご支援があったからだと改めて感謝しております。会長の言葉にある様に、この式典を新たな出発点とし力強く歩き始めたいとの決意を表明し、30周年記念式典の紹介を終わります。
(岩見沢東RC幹事 長田正文)

ペットボトルエコキャップ活動

札幌南ローターアクトクラブ

安藤由香里

この度、ローターアクトで活動している「エコキャップ活動」にご協力いただきました。2013年4月15日（月）に三石ロータークラブがペットボトルのキャップを集めて下さっているということでペットボトルのキャップを受け取りに蝦名地区ローターアクト委員長とローターアクト1名で行って来ました。蝦名地区ローターアクト委員長は、ローターアクトについて卓話もしました。

今回いただいたペットボトルのキャップは、約13kgです。ポリオワクチンに換算すると約6.5人分相当の量になります。ペットボトルキャップ800個（2kg）でポリオワクチン1本分になります。ポリオワクチンは1人分20円ですがそれで子供1人の命が救えます。ペットボトルのキャップは焼却処分すると二酸化炭素(CO₂)を排出しますが、この運動で集められたキャップは焼却せずに溶かして再利用するためCO₂削減にもつながります。

帰りには、榎本会員の会社を訪問させていただき、ローターアクトのお話をし、お土産までいただいて帰って来ました。誠にありがとうございました。

今までは、ローターアクトを提唱しているロータークラブとの接点がほとんどでしたが、ローターアクトを提唱していないクラブでも今回のようにローターアクトに興味を持っていただき、活動にご協力・ご理解いただけることは大変うれしく思います。

これからもっと活発な活動をたくさんしていきたいと思えます。



国際ロータリー日本事務局 事務所移転のご案内

国際ロータリー日本事務局

事務局長 **小林 宏明**

国際ロータリー日本事務局は2013年5月27日（月）より、東京都港区三田に移転致しましたので、謹んでご案内申し上げます。

最寄り地下鉄駅から徒歩3分となり、皆様のご来局に際しては、今まで以上に交通の便のよい場所への移転になるかと存じます。

また、2013年5月27日（月）より、「奉仕室」の名称を「クラブ・地区支援室」に変更致しました。1981年の開局以来「奉仕室」として業務を執り行って参りましたが、昨今のオンライン化をはじめとする業務内容の変革に対応し、今回の名称変更に至りました。

新たな年度を迎えるに先立ち、国際ロータリー日本事務局スタッフ一同、これまで以上に皆様のご期待に添えますよう、より一層精励して参る所存です。

今後とも皆様のご支援賜りますよう深くお願い申し上げます。

記

新住所：〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28三田国際ビル24F

電話：クラブ・地区支援室 03-5439-5800（旧奉仕室）

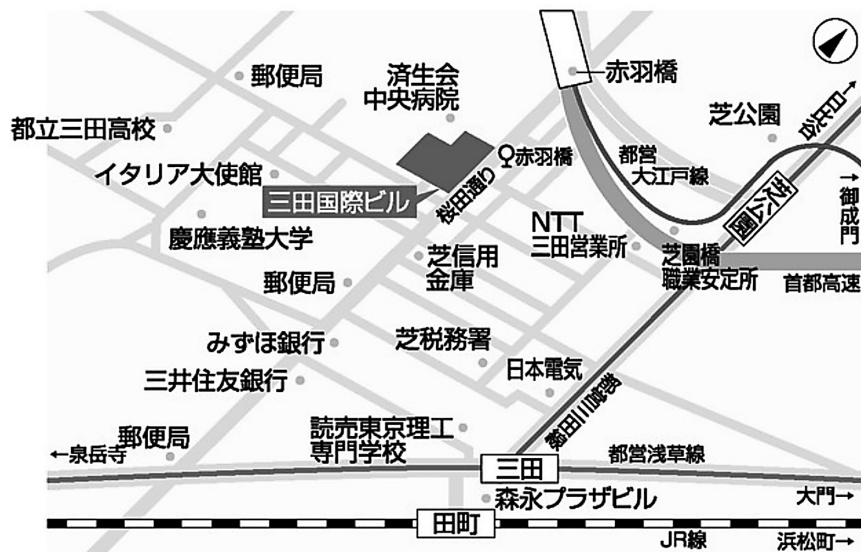
財団室 03-5439-5805

経理室 03-5439-5803

資料室 03-5439-5802

FAX：共通番号 03-5439-0405

業務時間：午前9時30分より午後5時30分まで



アクセス：都営地下鉄大江戸線「赤羽橋」赤羽橋出口より徒歩3分

都営地下鉄三田線「芝公園」A2出口より徒歩7分

JR「田町」三田口（西口）より徒歩10分

新会員の紹介

(敬称略)



栗沢RC
前田 寛
4月1日入会
老人ホーム



岩見沢RC
鹿野 義行
4月18日入会
信用金庫



岩見沢RC
大岡 貴志
4月18日入会
議員秘書



岩見沢RC
渡辺 淳一郎
4月18日入会
損害保険業



伊達RC
佐藤 一英
4月23日入会
建築材料卸売業



伊達RC
根子 洋一
4月23日入会
農機具



岩見沢RC
石川 裕也
4月25日入会
普通銀行



岩内RC
遠藤 眞美江
4月25日入会
生命保険



苫小牧RC
渡辺 雅樹
4月26日入会
電気事業

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



柳 義文 会員 (滝川RC)

2013年3月29日逝去 (享年79歳)

【ロータリー歴】

1976年1月 入 会
1983~84年度 幹 事
1993~94年度 会 長
1997~2000年度 地区職業奉仕委員

【表彰関係】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(3回)
ベネファクター
米山功労者マルチプル(4回)



伊原 重孝 会員 (羽幌RC)

2013年4月24日逝去 (享年77歳)

【ロータリー歴】

1979年6月 入 会
(チャーターメンバー)
2004~05年度 副 会 長
2006~07年度 会 長

【表彰関係】

ポール・ハリス・フェロー



奥田 宗夫 会員 (浦河RC)

2013年4月18日逝去 (享年63歳)

【ロータリー歴】

2003年5月 入 会
2005~06年度 幹 事

【表彰関係】

ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

◆米山功労者

札幌北RC 片岡 是充 会員 (1回) 4月24日
札幌西RC 石丸 修太郎 会員 (4回) 4月24日

室蘭RC 飯尾 哲也 会員 (1回) 4月12日
室蘭RC 東海林 哲郎 会員 (1回) 4月26日

◆米山功労クラブ

江別RC (9回) 4月26日
室蘭RC (8回) 4月12日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

砂川RC 松原 重俊 会員 (1回) 4月
滝川RC 深澤 和範 会員 (1回) 4月
当別RC 福井 昭和 会員 (2回) 4月
札幌北RC 阿部 弘 会員 (2回) 4月
札幌北RC 出村 知佳子 会員 (1回) 4月
札幌北RC 栗原 清昭 会員 (1回) 4月
札幌北RC 草間 孝廣 会員 (2回) 4月
札幌北RC 斉藤 昌一 会員 (1回) 4月

札幌北RC 湊田 勲 会員 (2回) 4月
札幌北RC 竹原 巖 会員 (5回) 4月
札幌東RC 小田 切房之 会員 (4回) 4月
札幌真駒内RC 丸山 淳士 会員 (3回) 4月
札幌真駒内RC 中山 裕視 会員 (5回) 4月
札幌真駒内RC 齋藤 康嗣 会員 (2回) 4月

◆ポール・ハリス・フェロー

江別RC 久富 文子 会員 4月
札幌北RC 藤城 英明 会員 4月

札幌北RC 桶川 昌幸 会員 4月
札幌北RC 佐々木 麻利 会員 4月
札幌北RC 佐々木 仕 会員 4月
札幌真駒内RC 金坂 和正 会員 4月
長沼RC 佐々木 信雄 会員 4月
長沼RC 田嶋 俊美 会員 4月
室蘭RC 鴨井 清貴 会員 4月
室蘭RC 東海林 哲郎 会員 4月



文庫
通信

(308号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリアンの著書より

◎「やさしいロータリーの話－間柄の美学」	佐藤 千壽	1984	27p
◎「企業の社会的責任」	佐藤 千壽	1996	26p (D.2590)
◎「企業行動のあり方」	佐藤 千壽	1996	69p (D.2770)
◎「決議23-34 (セントルイス宣言) 成立の経緯」	佐藤 千壽	1985	24p
◎「ロータリー論策－親睦と奉仕」	佐藤 千壽	1996	70p
◎「井坂孝の足跡」	鈴木清次編著	2009	221p
◎「ロータリー夜話」	津田 進	1987	116p
◎「ロータリー茶話」	津田 進	1989	143p
◎「ロータリー余話」	津田 進	1994	106p
◎「ロータリー夜話・茶話《抜粋編》」	津田 進	1994	141p

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

地区カレンダー (6月)

6月 ロータリー親睦活動月間

1 (土)		16 (日)	
2 (日)		17 (月)	第23回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会(恵庭)
3 (月)		18 (火)	
4 (火)		19 (水)	
5 (水)		20 (木)	
6 (木)		21 (金)	札幌モーニングRC創立25周年記念式典(札幌)
7 (金)		22 (土)	～23(日)インターアクト年次大会(札幌)
8 (土)		23 (日)	～26(水)国際大会(リスボン・ポルトガル)
9 (日)		24 (月)	
10 (月)		25 (火)	
11 (火)		26 (水)	
12 (水)		27 (木)	
13 (木)		28 (金)	
14 (金)		29 (土)	ローターアクト年次大会(札幌)
15 (土)	新旧地区委員長・ガバナー補佐合同引継ぎ会議(札幌)	30 (日)	2012-2013年度終了

2013年6月のロータリーレート 1ドル100円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2013.4.30	増 減	内女性	
1	深 川	4	37	35	-2	2	90.00
	羽 幌	3	46	47	1	2	79.70
	妹 背 牛	4	10	12	2	0	89.58
	留 萌	4	43	42	-1	3	83.34
	小 計		136	136	0	7	85.66
2	赤 平	5	28	32	4	0	82.80
	芦 別	4	37	38	1	2	72.86
	砂 川	4	47	46	-1	0	91.26
	滝 川	4	84	85	1	2	73.00
	小 計		196	201	5	4	79.98
3	美 唄	4	33	30	-3	0	85.48
	江 別	4	34	36	2	1	79.16
	江 別 西	3	26	25	-1	3	100.00
	岩 見 沢	4	80	81	1	0	91.27
	岩 見 沢 東	5	21	22	1	2	84.24
	栗 沢	4	23	23	0	1	94.60
	栗 山	4	23	23	0	3	92.42
	当 別	4	27	28	1	1	91.97
	小 計		267	268	1	11	89.89
4	札 幌	4	110	114	4	0	99.77
	札幌あけぼの	3	15	15	0	2	100.00
	札幌はまなす	4	17	15	-2	3	88.33
	札 幌 北	3	32	36	4	5	89.22
	札幌モーニング	4	44	49	5	0	67.38
	札 幌 西	4	47	51	4	6	86.85
	札 幌 西 北	4	33	33	0	3	80.30
	札 幌 手 稻	3	31	33	2	3	91.89
	小 計		329	346	17	22	87.97
5	札 幌 東	4	121	126	5	0	98.94
	札 幌 清 田	4	20	20	0	6	100.00
	札 幌 幌 南	4	50	53	3	1	100.00
	札幌真駒内	4	23	21	-2	3	100.00
	札 幌 南	4	80	80	0	0	99.38
	札幌大通公園	4	12	15	3	1	73.33
	札幌セントラル	4	7	7	0	3	71.40
	新 札 幌	4	27	25	-2	3	70.96
	小 計		340	347	7	17	89.25
6	岩 内	4	21	21	0	1	80.47
	倶 知 安	4	36	39	3	6	71.00
	小 樽	4	70	68	-2	0	90.00
	小 樽 南	4	71	71	0	2	90.49
	小 樽 銭 函	4	20	21	1	2	80.00
	蘭 越	4	10	11	1	0	86.40
	余 市	4	43	41	-2	4	83.50
	小 計		271	272	1	15	83.12

4月出席率・
会員増減数

クラブ数	72クラブ
期首会員数	2,560人
当月末会員数(女性)	2,621人(119人)
増加会員数	61人
当月平均出席率	84.92%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2013.4.30	増 減	内女性	
7	千 歳	4	49	52	3	3	90.45
	千歳セントラル	4	33	36	3	3	74.30
	恵 庭	3	42	41	-1	3	88.90
	北 広 島	4	16	17	1	0	86.76
	長 沼	4	19	20	1	3	82.50
	由 仁	4	9	7	-2	0	75.00
	小 計		168	173	5	12	82.99
8	え り も	4	26	24	-2	1	89.58
	三 石	4	15	15	0	2	76.60
	様 似	5	24	24	0	1	81.70
	静 内	4	72	70	-2	0	66.00
	浦 河	4	34	31	-3	1	92.96
	小 計		171	164	-7	5	81.37
	9	伊 達	5	54	55	1	0
室 蘭		4	40	40	0	0	83.33
室 蘭 東		4	38	38	0	0	77.90
室 蘭 北		4	33	34	1	2	74.30
登 別		4	31	31	0	1	83.87
洞 爺 湖		3	9	9	0	0	100.00
小 計			205	207	2	3	82.63
10	函 館	4	79	86	7	0	87.73
	函 館 亀 田	4	39	40	1	4	92.31
	森	4	42	43	1	0	72.00
	七 飯	4	15	17	2	0	61.70
	長 万 部	5	8	9	1	0	82.20
	函館セントラル	4	28	26	-2	2	63.46
	小 計		211	221	10	6	76.57
11	江 差	5	10	12	2	1	91.70
	函館五稜郭	4	39	48	9	0	92.16
	函 館 東	4	43	48	5	6	79.04
	函 館 北	4	25	23	-2	0	89.77
	北 斗	4	15	15	0	0	58.00
	松 前	4	3	4	1	0	100.00
	小 計		135	150	15	7	85.11
12	白 老	4	28	31	3	1	82.00
	苫 小 牧	4	47	52	5	2	91.47
	苫 小 牧 東	4	28	25	-3	4	91.67
	苫 小 牧 北	4	28	28	0	3	97.12
	小 計		131	136	5	10	90.57
合 計		2,560	2,621	61	119	84.92	

6月のことば

思ったことをわざわざ口にしなくても、お互いの気持ちが通じ合うことですが、親睦を重ね、友情を深めるロータリアン仲間は常に以心伝心の間柄になっているようです。

ガバナー 細川好弘 書





奉仕を通じて平和を

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2012-2013 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510